

山田町の方のつぶやき

ボラパックⅡでは直接現地の方と接する機会が多くあります。これまでの参加者が活動中に聞いた声をまとめました。出発する前の心の準備の一つとして、この「つぶやき」に目を通してください。

夫が流されてしまって、遺体は戻ってきたけど出張していることにしている。そうでないとやりきれない。

「助けて」と、声がしてその声が消えていった。

震災でダンナを亡くして、息子と2人っきりになってしまった。

着物も、へそくりも、子どもも流されてしまった。

今年の桜がいっぱい咲いているのを見て、やっと最近笑えるようになりました。

震災後1年も経ったのに、遠い三重から来て、色々支援して頂き感謝している。何のお礼も出来ない事が悔しい。

もし三重県で何かあれば駆け付けます。

この腕時計は、息子の形見で手放せない。いつもはめている。

オレは妻が死んだと思っていたし、妻もオレが死んだと思っていた。出会えた時はうれしかった。

桜があったけどどこかに流れて行った。隣の家も、でも、ここが一番。

餅つき大会を予定立てていて「手伝ってほしい」と声を掛け、仮設におられる方が動き出すためのきっかけを作っている。

遺体安置所で50体位並ぶ中、一人一人顔を見ていく時の気持ちは忘れられない

こうやって遠い所から来てもらって、色々作って全部飾らせてもらっている。命があるから幸せやわ。

元氣なふりしてるんだよ。

とうちゃんが海さ流されてしまっとな。

生徒「先生、復興ってどういうこと？」
先生「元の状態に戻すことよ」
生徒「じゃあ、お母さん返してよ」

1人ぐらしなので、にぎやかなのうれしい。

修理は出来ても新しく家を建てる事が出来ないんですよ。

震災前は夏、観光客多かったけど、今は浜が無くなってしまったから来なくなったなあ。

ストレス発散法はボランティアさんと接して話すこと。

1年たっても、かなしみは少なくなるらないね。

私も震災時は本当にこわい思いもしました。でも今、こうやって仕事ができるので幸せです。

何もかも津波がわるい。

そんな遠くから。何で来てくれるの？ 私はそんな遠くに行けないけれどね。

自分で笑っていかないといけないね。

毎日毎日が幸せ。

ゴミは金なり。

将来、復興を担う今の中高生の意見を聞いてみる事が重要。

三重にももうすぐ来るね。

今度はゆっくりきてね。

復興にはあと100年かかる。

今日は気持ちよく寝られる。

今日楽しかった。遊ぶ場所ないから。

次回また来た時には、オレの店で仕事してくれ。

今すぐ使う必要のない荷揚場を建てるより、漁師の命である漁船や港の整備を優先すべきだと思う。

お父さんガンブラたくさんあったけどみんな流されたの。

宮古に転校するんだ。津波で家が無くっちゃったからね。

津波が来た時、波と一緒に走るしかなかった。

もうなくすものは何もないから怖いものはない

山田町っていいところ、みんなにおしえてあげて。

津波に流されそうになった時に私を助けてくれたのは、震災前に腹を立てていた暴走族の青年だった。震災は人を変えるのだと思った

みえボラさんが来るって聞いて楽しみに待っていたの。

災害にあった場合、どうしても自分主体になる。助け合う心をもっていても行動が伴わない。

若い人の力をもらって、生きる希望がわきました。

震災直後は、その光景に慣れてしまい、遺体を平気でまたぎ、その前で昼食を食べられるようになった。

「てんでんこ」(てんでバラバラに)家族を信じてるよ。

仮設を出たいけれど、以前購入した時よりも土地が高い。

私たちがこの震災のことを次世代の子どもたちに伝えなくてはいけない。

発災からしばらくはメールに絵文字すら使えなかった。今はバンバン入れてるけどね。

見て感じたことや聞いたことを風化するのこないよう、周りの人たちに語り伝えて、いざという時に備えてほしい。

物資の供給は十分にあるので不自由はないが、こうして三重県からのあたたかいふれあい訪問いただけることにとても感謝している。

何もしてくれなくても、あんた達が来てくれるだけで涙が出る程嬉しい。ありがとう。

いつどこにおるときでも津波のことを考えてる。どこに行けばどこに逃げるか考えてる。

皆が『東北の人は強いから』と言うけど、そうするしかない。

波がせまってきて逃げたの。でも波においつかれてね、母親とつないでいた手はずぐ離れてしまった。幸い、母親も若い人達に助けてもらって私も助かったけど体中、打ぼくや傷だらけだった。

頑張れと言うが、私には何を頑張ればよいのか解らない。長い間頑張って築きあげた財産の全てを一瞬の津波で失った。今迄の人生精一杯頑張った結果がこれだよ。この上、何を頑張れば良いのか教えてほしい。

この人はダンナさんがいないから気兼ねしないで一緒に写真撮ってもいいよ。

今はこういうものを作るのが一番の楽しみ。

仮設の抽選で、近所の人とバラバラになり、1年たってやっと隣の人と話ができるようになった。

自分たちは多くの方に支えられているけど、ボランティアさんは遠い道のりをかけて来てくれて、御苦労様です。

前はきれいだったんですよ。今はこんなになっちゃったけど。

(仮設付近の在宅被災者の方)初めて仮設の集会所に来た。これから集会所を利用し交流したい。

(「手がきれいですね」と言ったら)「今は何もしてないからね…。」

震災をきっかけに、疎遠になっていた孫と電話をする機会が増えて嬉しかった。

何もすることがないから今日は楽しかったわ～。

津波は見えてからでは逃げられない！

嫌なことは、3歩歩いて忘れるもの。

山田町には仕事がないので、離れた所まで行かなければならない。

70代以上の人は皆、仮設での死ぬのを待つだけ。

津波では残った家が、火事で全部燃えてしまった。探しても何も残ってない。

せっかくボランティアの方たちが来てくれても、若い子らは参加せんといつもこの同じメンバーが集まる。

みえの人たちにはお世話になったの。鯉のぼりも洗ってもらったし。だから来てくれるだけで嬉しいの。

(花の種をさしあげたとき)「家にはうえるところもないのでいらない」
(しばらくしたら)「ながされた家のところに花を植えようかな?」

あんたね、津波でどんなんかわかる、そりやおそろしいよ。
夫と手をつないで逃げたけどはなれた時はもうだめだと思った。
近くの人に助けられたの、うれしかったよ。

遠くから、わざわざありがとう。私は家も娘もみんな流されたからねえ。

3ヶ月の子供を背負ったまま流された母子が遺体で見つかった。

自然に荒らされたけど、自然と生きていく。

津波のすぐ後はこんなに笑えなかった。

「津波でんでんこ」は、家族同士の信頼関係がないとうまくいかないよ。

隣の家の掃除機が壁にあたって大きな音が響くのがストレス。

大
今
き
年
く
が
歩
み
「
出
復
し
興
ま
す
元
よ
年
!」

復興住宅に入ろうと思ってたんだけど
(寝たきり・入院中の)だんなが帰ってくるなら
やっぱり自分の家がいいって
いうもんだから、家を買おうかしら…。

元の生活に戻ってくる事は無い。
何をもって復興と言うのか、復興はありえるのか。

せっかく助かった生命、一度伊勢神宮に
参拝に行きたいので頑張ってる!

まずはその瞬間を生きのびる。
自分の命を守るのは、難しいよでかんたん。

私はポジティブに生きる。
震災があつてからなおさらその気持ちが強くなった。

自分を折った鶴を飾って見ていると心がなごむと
同時に三重の人たちの事を思い出している。

わ
す
れ
な
い
で
ね

若い人達の仕事が少なすぎる。
仮設にいる間にだんだんと
仕事に対する意欲が少なくなっていって
いるような気がしてこわくなります。

友人たちとここでBBQした。
皆流されちゃったけどね。

無心で出来るから、
何も考えなくていい。

津波でお父さんも家も全部流され、死のうかな、と思った。

荷物をとりに帰ってはだめ、戻ったら助からない。逃げること。
車に乗って逃げてはだめ、車を捨てて逃げる勇気をもつこと。

お姑さんからいつも地震のあととは
すぐに逃げなさいとおしえられてたの。
それで孫は、助かったの。
つたえるって大事だよな。

せっかく生き残ったのだから、
これから生きなくちゃ!

服はほとんどもらいもの。

昨日、警察の車が来ていた。孤独死と思う。

私は目が見えないけれど、みんなの思いとパワーをもらったよ。
本当にありがとう。ありがとう。

(一緒に撮った写真をていねいにティッシュにくるんで)
葬式用の写真もなくなっちゃったからねえ、写真があるとうれしいね。

みなし仮設は交流がなくてさびしい。

やっぱり、茶碗って土から出来るの!
津波なら探せば何かは出て来るけど、
燃えちゃったから、な～んにも出てこない。
ぜ～んぶ、土に戻っちゃった。

昭和8年生まれで、三度、家を流されて
きたから…もう、津波に遭いたくない。

命があつただけで十分だ、あとは何もいらぬい。

新聞コサージュ、明日の老人会に付けて行くわ。

どうせ、私のことなんて、すぐ忘れるんでしょ?

1年半たつてようやく人にはなせるようになった。
人に話そうとすると、3/11に戻ってしまう。
だから、人に伝えることができなかった。

津波から一年、二年、と月日が経つごとに不安は増す。
今でも每晚、津波のことを思い出すので、
夢中になれる時間をつくってもらったことに感謝しています。

畑が少しだけでも元の状態になって
おばあさんがお花なんかを植えられたらなと思って…。

家族が2つに分かれてバラバラ。

伊勢に旅行をした時に主人が買ってくれた
真珠、とってもいいものだったの。
それもみーんな流されてしまつて
なあんにもあんにも無くなってしまったわ。

津波ですべて流されてしまつても、
作つたら、なんとかなる。

自分の所に住み続けたくても
怖くて住めない、でもここがいい。

三重に行ってみんなと観光したい

生きなければ今がない。

ガレキ・ガレキと一言で片付けるけど、
一人ひとりの家の物、財産ですよ!

当日息子を亡くした。
息子を探し、点々とあちこち回り、さがしあてた時は、
車がぶつかったみたいで傷が残っていた。

津波で家ごと流され、たたみ一畳の上に居て助かった。
しかし夫はその後入院して亡くなった。長生きしたくない。

強く生きているということをたくさんの人に伝えてほしい。

今までに経験したことのないゆれにあつたらすぐににげること。
絶対に家にものをとりにもどらないこと。
もどつてだめだった人たくさんいるからね。

たたみと家具の間にはさまれ流された。
気付いたのは5日後。
骨折と切傷で未だに右手が不自由。

何も持たずに避難した。
3日間、ほとんど食べられなかった。

がれきがなくなると
町が消えてしまうみたいでさみしい。

とにかく子どもたちがかわいそう。
グラウンドも小さくなったし、外で十分に遊べないし、
雨降りにはもう、遊ぶ場所はどこにもないからねえ。

今日は月命日。
やっぱりあの日の事を思い出してしまう。

恐い夢を見るので、睡眠薬で寝ている。

自分は津波に流されても助かったが、
自分より若い50代の人々が今もみつかっていない。

私は家も残っているし、家族も何ともないので
被災した人たちに何とも言えない気持ち。

あの時は、体育館で、とても寒かった。
しばらく仕事をしていなくてね。
やっと再び仕事を始めて、太り出したのよ。(笑)
それまでは、やせて、今まで入らなかつた
服が入つたって言つたのよね。

地震が大きかったので津波が来る!と思って自転車で逃げた。
後ろから音もなく水が来て、車輪の3/4くらいまで浸かつた。
倒れたら死ぬと思って必死にペダルをこいだ。

単身している主人に紙ヒコーキが楽しかつたって電話します。
お父さんが帰ってきた時に一緒にやりたい。

非常持ち出しグッズは家の中より車の中に置いておいた方がよい。

地震のゆれで亡くなった場合、
遺体はひどくも残っているけど、
津波の場合はどこかに行つてしまい、
遺族の方々辛い思いをする。

家業がカキ養殖で、すべてを失つた。
今年から始めたが、収かく期は休みがない、
正月もないのでえらいが、ヒマもつらい…。

みえボラさんのお陰で元気になった。
感謝している。三重県が大好き。

男性は外出して交流しようとしぬい、男女の差。

来てよかつたわ。家で亡くなつたこと考えてるより。

仮設での生活は楽しみが無いので来てよかつたです。

以前の家は大きくて、風も通つたが、仮設は風通しも悪く暑い。

あなたたちの元気が私たちの元気になるからね。

きっとあと2年位は生きていと思うので、
もう一度来て下さい。今日はありがとう。

短冊に「早く復興して欲しい」と書いた。

福島原発も東京の人のため、
それなのに今回被害をうけたのは東北の人たち。
何も悪いことしてないのに…

震災直後は、消防団員として家庭を優先するのか、
地元を優先するのか、苦悩の日々だった。

2年たつて、今はもうこの景色があたり前になっている。

40年間頑張つて働いたのに全て流されてしまった。

津波は前方ばかり見ていたので
後ろから寄せてくる事は、皆が頭になくて
反対からきた津波でたくさんの人々が流された。

作成: みえ災害ボランティア支援センター